

事業番号	09 02 10	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山の幸生産振興対策事業				担当課	部局	林務部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	信州の木活用課		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H8 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	山村における貴重な収入源である特用林産物の生産振興を主体として、生産者の収入確保と地域の活性化を目指す。
------	--

現状 (予算編成時)	○山林には、里山を利用したきのこや山菜栽培など特用林産物の生産ができる環境はあるものの、知識や技術の不足により特用林産物を生産することにより、収入の確保が行われていないので、里山を利用した特用林産物の生産が地域産業の一助となるべく、知識や技術指導が必要。
------------	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 林業普及指導員の持つ専門知識が必要、特用林産産地振興総合対策事業補助金交付要綱 起業支援型地域雇用創造事業交付要綱
	県民との協働による実施: 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)				
	○特用林産物の栽培研修会を6回開催し、460人程度の参加者に対して研修内容の理解を図る。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26実施内容		
			H26 (当初)	H26 (決算)	
			H27 (当初)		
地域特用林物商品化事業	補助	・直売所の新設・拡充など地域の人たちが行う特用林産物商品化に対する支援 (15回)	186	74	186
技術向上対策事業	補助	・しいたけ生産技術等研修会の開催 (1回30人) ・山菜栽培技術等研修会の開催 (2回60人) ・まつたけ生産者・指導者研修会の開催 (3回370人)	108	147	108
情報収集提供事業	補助	・まつたけ等発生調査 (4箇所) ・しいたけホダ化積算温度調査 (9箇所)	234	307	234
里山保全と未利用木材有効活用先進モデル事業	委託	・里山の林地残材から炭を生産し有効利用を図る 先進的な取り組みを推進	4,498	4,498	
合計			5,026	5,026	528

事業コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	556	556	5,026	528
		補正予算				
		合計(A)	556	556	5,026	528
	Aの財源	一般財源				
		県債				
		国庫支出金	278	278	528	528
		その他	278	278	4,498	0
	決算額(B)	1,112	556	5,026		
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	
	概算人件費(C)	826	826	826	826	
	概算事業費(B(A)+C)	1,938	1,382	5,852	1,354	

成果目標の達成状況					
項目	H25末 (実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
研修参加者数	371	460	477	達成	400

目標に対する成果の状況	マツタケ、シイタケ、山菜・木炭に係る研修会を開催し、熱心な研修者が多く参加し有益な研修が実施できた。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	事業を継続し、生産者への支援を行うが、研修内容については実施主体へアドバイスをを行い、生産者にとって更に有益となる研修を企画するよう指導するとともに、より多く参加できるよう現地研修を企画するなど検討していきたい。